



カーボンニュートラルの実現に向けて

めざそう！低炭素社会

私が一歩 みんなと一歩



令和7年度



TEAM MATEひろしま

活動事例集

各地のTEAMを中心に 低炭素社会づくりをめざします

この事例集は、広島県内で活動する「地球温暖化対策地域協議会」の活動の様子をまとめたものです。

「地球温暖化対策地域協議会」は、日常生活からの温室効果ガス排出量削減に向けて、地域の各主体が連携・協働し、地域の実情にあった実効性のある温暖化対策に取り組むパートナーシップ型の地域組織です。

脱温暖化センターひろしまでは、「地球温暖化対策地域協議会」を通称「TEAM(チーム)」と呼んでいます。また、各TEAMの交流・協働の場として、「広島県地球温暖化対策地域協議会連絡会」=通称「TEAMMATE(チームメイト)ひろしま」を設立し、連携事業などに取り組んでいます。



広島県内には、令和7年12月末日現在で21の地球温暖化対策地域協議会が設立されています。

TEAMの構成員は、地球温暖化防止活動推進員や公衆衛生推進協議会、行政、学校、企業、各種団体(女性会、食推など)など、TEAMIによってさまざまです。

目次

TEAM連携で取り組む低炭素社会づくり……………1	・脱温暖化プロジェクトせら……………12
各TEAMの取り組み紹介……………2~21	・くい環境会議……………13
・府中町脱温暖化市民協議会……………2	・福山北部脱温暖化地域協議会……………14
・広島市地球温暖化対策地域協議会……………3	・海田町地球温暖化対策地域協議会……………15
・くれ環境市民の会……………4	・門田地球温暖化対策協議会……………16
・マジやるラボ……………5	・脱温暖化笑コきたひろ……………17
・脱温暖化ネットおんど……………6	・竹原市地球温暖化対策地域協議会……………18
・大崎上島けんこう文化の島づくり協議会……………7	・かんきょう会議浮城……………19
・エコINNくろせ……………8	・しのうエコ推進会……………20
・布野の食と脱温暖化を考える会……………9	・脱温暖化福山中央地域協議会……………21
・ひがしひろしま環境家族……………10	広島県地球温暖化防止活動推進センターについて……………22
・倉橋の海とくらしを守る会……………11	広島県地球温暖化対策地域協議会連絡会 設置要綱……………23

TEAM連携で取り組む低炭素社会づくり

各TEAMは、いずれも地域の特性を活かしたユニークな活動を展開しています。

<実践活動>

- ・地産地消・エコクッキング
- ・廃食油の活用
- ・ごみ減量・生ごみの堆肥化
- ・3Rの推進
- ・マイバッグ・マイ箸の推進
- ・エコドライブの推進
- ・里山・里海の整備・保全
- ・農業体験・エコ農法
- ・自然エネルギーの活用
- ・食品ロス削減
- ・自転車利用促進
- ・もみ殻くん炭作り
- ・プラスチックの資源循環
- ・山野草と親しむ、恵みを取り入れる
- ・リフィル(使い捨て容器を減らす取り組み)
- ・住宅断熱(内窓設置など)
- ・サステナブルファッションの推進

<学習会活動>

- ・環境学習・出前講座
- ・イベントの開催・ブース出展
- ・講演会の開催
- ・グッズ・教材の作成
- ・SDGsゲーム

<普及啓発活動>

- ・環境家計簿記帳運動
- ・省エネ相談
- ・うちエコ診断
- ・緑のカーテン

<広報>

- ・情報誌等の発行
- ・SNSを使った発信



①府中町脱温暖化市民協議会	⑫くい環境会議
②広島市地球温暖化対策地域協議会	⑬福山北部脱温暖化地域協議会
③くれ環境市民の会	⑭海田町地球温暖化対策地域協議会
④マジやるラボ	⑮門田地球温暖化対策協議会
⑤脱温暖化ネットおんど	⑯脱温暖化笑コきたひろ
⑥大崎上島けんこう文化の島づくり協議会	⑰エコネットひがしひろしま※
⑦エコINNくろせ	⑱竹原市地球温暖化対策地域協議会
⑧布野の食と脱温暖化を考える会	⑲かんきょう会議 浮城
⑨ひがしひろしま環境家族	⑳しのうエコ推進会
⑩倉橋の海とくらしを守る会	㉑脱温暖化福山中央地域協議会
⑪脱温暖化プロジェクトせら	※番号は設立順

※⑰エコネットひがしひろしまは、⑦や⑨他のネットワーク組織のため、単独行動は行っていません。

府中町脱温暖化市民協議会（緑の仲間づくりプロジェクト）

【設立】2002(平成14)年9月12日
【会員数】個人：8人、団体数：1団体

個人・団体・事業者・行政が協働し、人にも環境にもやさしい町づくりの広がりをめざして、さまざまな活動を展開しています。

【事務局連絡先】

◇住所 〒735-8686
安芸郡府中町大通3-5-1
府中町役場町民生活部環境課内
◇TEL 082-286-3244
◇メール kankyoka@town.fuchu.hiroshima.jp

主な活動

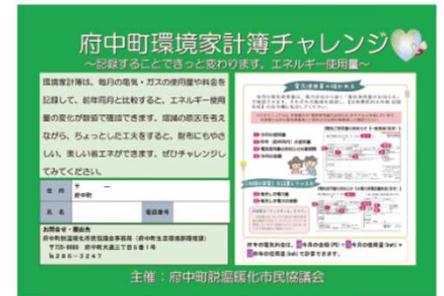
イベント「緑の仲間フェスタ」開催

平成19年度に第1回を実施！令和6年度は第16回目として、企業や団体に「環境に良い！」をテーマにしたブースを出展してもらい、環境について考えてもらうきっかけづくりを行いました。クイズをしながら各ブースを回るエコクイズラリーも開催し、先着100名様にプレゼントした花の苗は大変好評でした。



環境家計簿推進運動

平成21年度から継続して実施しています。家庭の電気・ガスなどのエネルギー使用量や料金を記録することで、生活の中での変化を「見える化」し、省エネ行動の促進や、環境意識の向上につなげていきます。



「府中つばき祭り」への出展

町内で開催される「府中つばき祭り」に出展し、町民から提供してもらった古着などをリユース市として販売したり、廃材を使用した工作教室を実施したりしています。

令和6年度は、缶のプルトップを活用したヘビの工作を実施しました。



環境学習出前講座

府中町内の小学校などを対象に、出前講座を実施しています。

令和6年度は講師を招き、小学校1校で食品ロスの出前講座を実施しました。



今後の展望・地域のみなさまへ

限られた人数でできることを検討し、脱温暖化に向けて町民への普及啓発を続けていきたいです。新たな緑の仲間を増やす方法についても考えていきたいです。

広島市地球温暖化対策地域協議会 (地球温暖化防止プロジェクト)

【設立】2003(平成15)年10月28日

【会員数】個人：71人、団体数：17団体

温暖化防止活動を行う市民・事業者・環境NPO・行政が連携しながら活動しています。

【事務局連絡先】

◇住所 〒730-8586

広島市中区国泰寺町一丁目6番34号
広島市環境局温暖化対策課内

◇TEL 082-504-2185

◇メール ondanka-t@city.hiroshima.lg.jp

主な活動

省エネ相談事業

イベント等の開催時に来場者へ「省エネ相談」アンケートを行い、家庭における省エネアドバイスを実施しています。



ecoチャリ事業

自動車から自転車への転換を促すことを目的とした啓発活動を実施しています。



出前講座・授業

地球温暖化によって懸念される影響に関する最新の知見と暮らしについて、市民にわかりやすく伝えることを目的に、小学校等で出前授業・講座を実施しています。



「ひろしま温暖化ストップ!フェア」の開催

地球温暖化の現状、各種取り組みや省エネ行動に関する情報提供など、地球温暖化防止に向けた普及啓発を行い、環境への負荷の少ないライフスタイルへの転換や企業行動を促進しています。



高校生セミナー



気候変動の影響の実態を知り、これからの地球温暖化対策への取り組みを考えてもらうきっかけとするため、専門的知見を有する講師を招き、高校生を対象としたセミナーを実施しています。

今後の展望・地域のみなさまへ

地球温暖化防止に向けて、今後もさまざまな省エネに関する情報発信に市民、事業者、行政が一体となって取り組んでいきます。

くれ環境市民の会

【設立】2003(平成15)年11月4日
【会員数】個人：70人、団体数：16団体、法人：30社

市民・事業者・行政がともに考え行動し、地球市民として環境に調和した地球にやさしい「わがまち呉」の実践をめざすパートナーシップ組織です。
「環境学習」「自然環境」「資源・エネルギー」の3つの部会を設け、さまざまな環境保全活動に取り組んでいます。

【事務局連絡先】

◇住所 〒737-8501
呉市中央4丁目1番6号
呉市役所環境部環境政策課内
◇TEL 0823-25-3301
◇メール kansei@city.kure.lg.jp
◇ホームページ、Facebook



主な活動

「くれエコフェスタ」の開催

企業・団体・学校等が連携し、毎年秋に開催する体験型環境イベントです。

工作教室やクイズラリー、環境保全活動のパネル展示等を行い、参加者の自主的なエコライフの実践を促進します。



出前環境講座

市内の小中学校等で、「資源の分別」や「4R」「エコクッキング」「ネイチャーゲーム」等をテーマに実施しています。

省エネや環境にやさしい調理法等を、実践しながら学んでもらいます。



食ロス削減ワーキンググループ活動

2019年に市民の声で「食ロス削減ワーキンググループ」を設立し、講演会、情報交換会を通じ、市民に啓発活動を行うほか、研修会を開催し資格登録者を育成しています。



・フードドライブ

2019年から2024年の6年間で1,780Kgを回収し、約936Kg-CO₂削減しました。

自然観察会

・どんぐり塾

自然観察や草刈り等の体験を通じて、環境問題や森林に関する知識を習得します。

・黒瀬川観察会

水質調査や野鳥観察会を実施しています。

・灰ヶ峰自然観察会

鳥類生息調査や植物調査を実施しています。



今後の展望

灰ヶ峰や野呂山の山々、倉橋島や安芸灘の島々など、四季折々の豊かな自然環境に恵まれた呉市を次世代に引き継いでいくため、くれエコフェスタやホームページをはじめとするSNSを活動PRの場として最大限活用し、多様な参加者と協働しながら省エネなどの温暖化防止活動や自然観察会などの活動を展開していきます。

地域のみなさまへ

くれ環境市民の会は、呉に住む人だけでなく、市外に住み、呉で働く人も「市民」と考えています。ぜひ、くれ環境市民の会に入会し、呉の環境を良くしていきましょう。

マジやるラボ

【設立】2004(平成16)年12月
(2007(平成19)年4月にマジやるラボへ改組)
【会員数】個人：16人 / 617世帯、団体数：7 団体

平成16年12月に「エコフォーラムわだ！」を設立以来14年、環境とエネルギーについて取り組んでまいりました。そして、平成19年4月、新たに私たちは、『持続可能な循環型里山づくりプロジェクトチーム・マジやるラボ』を立ち上げ、地域生活や学校生活と里山の現状（少子高齢化）について学び、地球温暖化対策活動の推進を中心に、『少子高齢化社会でも持続可能な循環型里山づくり』を自らの実践活動を通して、地域に企画提供をしています。

【事務局連絡先】

◇住所 〒729-6202
三次市向江田町3358-1
和田コミュニティセンター内
◇TEL 0824-66-1050
(休日・祝日・問い合わせ)
◇TEL 070-5373-1056
◇メール takeda1030@outlook.jp

主な活動

環境学習

- ・自然観察会
- ・水辺の学習「観て、触って、匂って、食べて」
- ・山野草を食べる会



温暖化対策活動

- ・プチプチ®回収とリサイクル
- ・もみ殻燻炭づくり、モリंगा栽培、菜の花栽培による脱炭素活動
- ・断熱壁、窓事業



もみ殻燻炭

米作りの過程で出るもみ殻を燻炭にして、畑などに漉き込んで脱炭素活動を行います。



プラごみ（ペットボトル・緩衝材）削減

- ・ボトルキャップや緩衝材のリサイクル運動
- ・ボトルキャップ工作（キーホルダー、キャップペンダントづくり）



今後の展望・地域のみなさまへ

私たち持続可能な里山づくり『マジやるラボ』では、命を大切に、暮らしを楽しく、人を大切に、育て・平和をこよなく愛し「イノ・クラ・ジン・ペイ」を合言葉に、里山づくりを楽しみながら、励んでいます。場所は、中国自動車道三次東インターから降りて、庄原方面に広がる里です。高速和知バス停の直ぐそばで（駐車場有）いつも活動しています。JR芸備線下和知駅下車すると和田のど真ん中、ウォーキングやトレッキングが楽しめる里山です。是非、遊びにいらしてください。

脱温暖化ネットおんど

【設 立】2005(平成17)年2月5日

地球温暖化の基本的な原因は、私達の日常活動に起因しています。「脱温暖化ネットおんど」は、このことを地域住民に認識してもらい、地域の実情にあった実効性のある対策を地域ぐるみで取り組むための組織として設立しました。なお、本会は「地球温暖化対策の推進に関する法律第26条」に規定される、地球温暖化対策地域協議会として活動します。

【事務局連絡先】

◇住所 〒737-1207

呉市音戸町波多見6丁目20-1

大浦崎海浜公園管理センター内

事務局長

広島県地球温暖化防止活動推進員 原泰治

◇TEL 0823-51-2325

◇メール hara4917@yahoo.co.jp

主な活動

海岸干潟の清掃

通年、大浦崎海岸の清掃を実施しています。海岸漂着ゴミを回収し、ゴミの海はなくなりました。



資源ゴミリサイクル（資源回収）事業

一般家庭から、缶、ビン、新聞、ダンボール、ペットボトル、廃食用油を回収し、資源リサイクルを実施しています。



スポーツゴミ拾いin呉三津田高校

各学期ごとに開催しています。多いときは1回で300kgの回収がありました。上位のチームには図書カードをプレゼントしています。



「おんど環境フォーラム」の開催

毎年、環境講演会とアトラクションを実施しています。楽しみながら、理解者を増やす取り組みを行っています。



今後の展望・地域のみなさまへ

地球温暖化対策に関わる瀬戸内海の自然環境の保全は、協議会として果たさなくてはならない大きな仕事です。すべての会員が、他人事ではなく、我が事だと理解してもらい、地域のリーダーとして活躍していくよう頑張ります。各々の力は、知れています。みんなの力で進んでいきます。

大崎上島けんこう文化の島づくり協議会

【設立】2005(平成17)年11月28日
【会員数】個人：18人、団体数：5団体

個人・団体・事業所・行政が協働し、人にも環境にもやさしい町づくりの広がりをめざして、さまざまな活動を展開しています。

【事務局連絡先】

◇住所 〒725-0301
豊田郡大崎上島町中野2067-1
◇TEL 0846-64-3513
◇メール eisei@town.osakikamijima.lg.jp

主な活動

アイドリング・ストップ運動

年5回フェリー駐車場、年4回スーパー2店でドライバー、買い物客を対象に平成16年から継続して実施しています。

年間のCO₂削減量、ガソリン節約は島づくり広報で報告しています。



環境学習出前講座

幼稚園、保育所へ年1回、平成16年から継続して実施しています。協議会作成のエコかるたは小学校3校、幼稚園、保育所などにも出前しました。



「商船祭」出展（省エネ相談）

毎年10月の最終土、日曜日のイベントで、生徒の保護者を対象に省エネ相談を実施しています。

全国から保護者が来場し、生徒の協力を得ながらパソコンを使って、委員がデータの説明をしています。



資源活用フリーマーケット

平成29年から、すみれ祭や沖浦マルシェのイベントで、家庭で眠っている食器、コップ、盆、衣類、靴などの不用品を出品・販売をしています。売り上げは、社会福祉協議会へ寄付し、地域の活動に活用されています。



今後の展望・地域のみなさまへ

一人ひとりが、エネルギーの無駄を省くことの大切さに気付き、無駄を減らすこと、自らアイドリングストップをして、地球にやさしい人になり住みよい地域になるように頑張っていきたいです。

エコINNくろせ

【設立】2006(平成18)年3月22日
【会員数】48人

自分たちにできる身近な脱温暖化行動を地域ぐるみで推進し、環境にやさしい町づくりを進めています。

エコINNくろせの「INN」は「宿」を意味し、環境にやさしい活動や思いが黒瀬に宿るように名付けました。

【事務局連絡先】

◇住所 〒739-2622
東広島市黒瀬町乃美尾573
小原義昭 方
◇メール ekoinnkurose@gmail.com

主な活動

もみ殻クン作り

もみ殻を炭にし、田圃に戻します。米作り農業で、使用したCO₂を還元します。



子ども達とのエコ活動

- ・農作業を通じたエコ活動（田植え、稲刈り、用水路見学）
- ・麦わらでのホタル籠作り



- ・保光川ハウマッチ（川の生き物採取）



- ・児童対象のゴミの減量化等の勉強会
- ・ペットボトルキャップ収集活動



エコ広報

- ・地球温暖化防止活動に参加して啓発活動実施イベントに参加し、展示やクイズで啓発する（健康福祉まつり、エコ祭り、昔遊び大会等）
- ・勉強会の実施

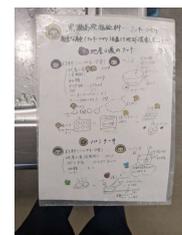


- ・講演会の開催



地産地消

黒瀬産小麦を使用して、地元の高校でエコクッキングをしました。



今後の展望・地域のみなさまへ

地球温暖化による異常気象や環境問題に、より多くの人に関心を持っていただき、できることから地球温暖化防止に向けて、一緒に行動していきましょう。

布野の食と脱温暖化を考える会



【設立】2006(平成18)年9月23日
【会員数】個人：50人、団体数：3団体

食を入り口に地球温暖化防止を考え、地域・事業者・団体・行政などが協働して、そのために必要な活動を推進することを目的としています。

【事務局連絡先】

◇住所 〒728-0201
三次市布野町上布野 1196-1
(布野町まちづくり連合会内)
◇TEL 0824-54-2222
◇FAX 0824-54-2222

主な活動

3R (リユース) 活動

みなさんと一緒になって、環境問題について考え、行動するきっかけとなることを目指し、1回/月を基本に3Rバザーを開催しています。このバザーの出品物は、家庭で使わなくなった衣類や食器、日用雑貨などを提供いただいたものです。



「山野草を食べよう!」環境出前講座

気候変動の影響で、私たちの周りの自然環境も変化しつつあり、今まで見られた植生も見られなくなるかもしれないという不安があります。そこで、雑草とされているが有用な山野草がたくさんあることを知ってもらい、活用法や注意点も含め、今のうちに、山野草に注目し、食文化や気候変動のことを考えてみる活動を行っています。



環境意識啓発活動 (環境テーマソングの作成)

豊かな地球環境を次世代に引き継いでいくため、環境周知を目的とした歌「地球を笑顔に!!」をつくり、環境活動の啓発を推進しています。



グリーンカーテン活動

取り組みやすい省エネ手法の一つとして、緑の植物が遮光してくれる「グリーンカーテン」の普及活動を行っています。

グリーンカーテンは、保育所や学校、道の駅などの設置のほか、会員自ら実践しながら、地域への呼びかけを行っています。



今後の展望・地域のみなさまへ

私たちを取り巻く環境を健全に保ちながら、より多くの人たちが心地よく暮らせるように、「緩和」と「適応」といった両輪を視座に置き、環境活動の啓発、実践を推進していきたいと思っております。

ひがしひろしま環境家族

【設 立】2007(平成19)年5月24日

日常生活における温室効果ガスの削減を目指し、親と子を中心に家庭での温暖化を抑制・防止する生活の推進を目的に発足しました。

【事務局連絡先】

◇住所 〒739-8601
東広島市西条栄町8番29号
東広島市生活衛生課内
◇TEL 082-422-1048
◇代表TEL 090-9466-2216

主な活動

学習会

食と健康に関する情報を検証しています。



上映会

「夢みる給食」等上映しました。



省エネ生活普及

- ・ウッドガラストーブやエコストーブ作成講座（里山の資源を見直す活動）
- ・小学生と親の省エネクッキング
- ・ハーブ&アロマでeco講座
- ・女性向けLOHASセミナー
- ・エシカルラボ



今後の展望・地域のみなさまへ

会員が楽しく活動することをモットーに、興味があることや話題のエコ情報、気候変動に対する動きなどを学ぶために活動しています。また、市民に広く知ってもらうために講座を開催しています。

倉橋の海とくらしを守る会

【設立】2007(平成19)年6月20日
【会員数】個人：32人、団体数：3団体

豊かで風光明媚な自然や温暖な気候に恵まれた倉橋は、広島県の最南端に位置し、漁業や農業が盛んです。皆さんで「豊かできれいな海」を守り、次の世代につないでいく取り組みを行っています。

【事務局連絡先】

◇住所 〒737-1377
呉市倉橋町431番地
倉橋市民センター内
◇TEL 0823-53-1111
◇メール kurasis@city.kure.ig.jp

主な活動

海の保全活動 桂浜清掃

毎月最終日曜日に、桂浜の清掃活動を地域の皆さんと連携して実施します。終了後は、健康くれ体操を全員で行い、リフレッシュします。集めた松葉などは、ミカンの木の下にまき、土の乾燥を防ぎ、また堆肥等として活用されています。



海辺の教室

明徳小学校3年生と倉橋小学校4年生が、干潟に住むカニや岩に付着する貝、海藻など生き物を調べ、海の汚れや自然環境、温暖化による生き物の影響について、学習します。

きれいな海の大切さを学び、倉橋の慣れ親しんだ生き物を通じて、きれいなふるさとの海を守ってほしいと思います。



桂浜合同清掃

7月の倉橋の主な行事である、遣唐使船まつりやアクアスロン大会、海水浴シーズン前に、倉橋小・中学校や地元のボランティアの合同による「桂浜清掃」を実施します。

きれいで美しい海や砂浜に、多くの利用者をお迎えします。



環境保全事業 EM石けんづくり

家庭から出た廃油を利用して、エコ石けん（EM石けん）づくりを行い、環境保全に取り組みます。作った石けんは持ち帰り、洗濯物の汚れがきれいに落ちる、魚料理の生臭さが消えるなど、大変喜ばれています。



今後の展望・地域のみなさまへ

倉橋の象徴的な桂浜は、白い砂浜と松林が美しく、日本の渚百選に選定されています。

万葉集に詠われた「桂浜」の清掃活動を中心に、さまざまな活動を実施します。地域の皆さまや、各種団体と連携し一体となって事業を行うことで、倉橋の美しい自然や環境を地域の皆さまで、守っていくことにつながります。

脱温暖化プロジェクトせら

【設立】2008(平成20)年7月17日
【会員数】個人：24人、団体数：7団体

町民や事業者、世羅町などが協働して、脱温暖化のまちづくりに寄与することを目的に、平成21年3月に「脱温暖化せらのまちづくりプラン」を策定しました。現在、「第4次脱温暖化せらのまちづくりプラン」で示した取り組みの実践に力を入れて活動中です。

【事務局連絡先】

◇住所 〒722-1192
世羅郡世羅町大字西上原123-1
世羅町役場 町民課環境整備係内
◇TEL 0847-22-4513
◇メール datsuon@town.sera.hiroshima.jp

主な活動

グリーンカーテン

快適な温度での生活とともに、うるおいのある町づくりを目指し、グリーンカーテンの推進活動に取り組んでいます。



環境学習

世羅町内の小学校で、「脱温暖化」や「地球環境」に興味を持ってもらうことを目的とした環境学習を実施しています。



3Rの推進(プチプチ®リサイクル)

世羅町役場や各自治センターに、プチプチ®回収Boxを設置し、プチプチ®の水平リサイクルに取り組んでいます。



もみ殻くん炭・竹パウダーの普及

廃棄されてしまう「もみ殻」を炭化させた「もみ殻くん炭」を土に混ぜると、稲が空気から取り込んだ二酸化炭素を土の中に封じ込めることができます。脱温暖化プロジェクトせらでは、もみ殻くん炭機の貸出を行っています。また、竹パウダーの普及も行っています。



地域のみなさまへ



せらなし坊

ぼくの「帽子」は、梨の「帽子」と地球温暖化「防止」のしるし。世羅高校の駅伝のように、みんなでたすきをつないで、脱温暖化のゴールをめざすよ。地球環境を守るため、がんばります！

くい環境会議

【設立】2009(平成21)年3月6日
【会員数】個人：60人

環境にやさしい三原市久井地域の町づくりをめざし、豊かな自然を次世代に継承することを目的に、四季折々の自然や水辺を楽しむ郷づくりの推進や環境にやさしい生活の実践と促進に取り組んでいます。

【事務局連絡先】

◇住所 〒722-1304
三原市久井町江木514-5
米持清 方
◇TEL 090-9411-9141
◇メール yonemochi-1945@outlook.jp

主な活動

毎年10月末の日曜日に開催される「久井！さわやか高原祭り」への出展

祭りでは、自然やエコライフについての展示と体験活動を取り入れています。自然素材の蔓や木の実などを使ったクラフト工作を、参加者ができるようにしています。



希少生物保護・里山保全活動

ホタルの生息地保護活動に取り組み、地元に基づいたホタル祭りを開催し、自然についての関心を高めるようにしています。

絶滅危惧種の蝶であるヒョウモンモドキの生息地保護活動に取り組んでいます。



冒険遊び場活動

毎月1回、廃校になった小学校の裏山で、親子が自由に冒険遊びができるように支援しています。



今後の展望・地域みなさまへ

メンバーが高齢化していますが、可能なかぎり地域の皆様にも呼びかけて行事を行っています。細々とではありますが、活動を続けています。ぜひ、ご参加ください。

福山北部脱温暖化地域協議会

【設立】2009(平成21)年3月10日
【会員数】238人(公衛協182人、推進員7人、食推49人)

福山市北部地域(新市、駅家、芦田、加茂)の地球温暖化防止活動推進員や公衆衛生推進委員、食生活改善連絡協議会が主体となって、温暖化防止活動を展開しています。地域ぐるみの省エネ活動を推進することで各主体が連携した街づくりを目指しています。

【事務局連絡先】

◇住所 〒720-1147
福山市駅家町向永谷50-4 井上勝彦 方
◇TEL 090-7596-5460

主な活動

緑のカーテン事業

平成23年から平成27年まで、協議会でゴーヤの苗を無償で配布して事業を行ってきました。平成28年から各学区ごとで実施してもらっています。苗の配布は事務局が行っています。

エコな料理教室

平成21年から地産地消をテーマとした料理教室が始まり、緑のカーテン事業を始めたことでゴーヤを育てると、ゴーヤが多く収穫できるため、食べ方を考えてほしいとの意見により、ゴーヤを使った料理教室を4年間続けました。

次はエコを考えた教室が希望され、2年間続けました。

次に地震、豪雨災害が続いたので、災害時に対応できる料理をテーマとした教室を2年間続けました。

今度は、食品ロスが問題とされているので、食ロスをテーマとした教室を行います。

時々の問題をテーマに挙げているので教室の評価が高く、次の教室を待ち望まれています。



省エネ学習会

平成25年から地域ごとに会場を設定し、受講者を集め、省エネについて地域の人に幅広く浸透させる学習会を開催しています。

内容は、地球温暖化の現状を説明し、省エネ活動の大切さを理解してもらい、まずは自らの活動を促しています。省エネについては、実際に家電を使って消費電力を測定し、省電力の方法を理解してもらいます。また、「うちエコ診断」を利用した方法も効果が大きいため実施しています。



今後の展望・地域のみなさまへ

地域協議会の主な活動は、温暖化防止活動の展開なので、地球温暖化防止についての事業が主となります。省エネを基本に考えると、緑のカーテン事業、地域別省エネ学習会、うちエコ診断、エコな料理教室の開催で広く地域の人に理解を求めます。

その方法として、大きな影響力を持っている子どもと女性に協力をお願いしたいです。

門田地球温暖化対策協議会

【設立】2018(平成30)年5月1日

【会員数】個人：15人

以前の活動を引き継ぎ、新メンバーで再スタートしました。

【事務局連絡先】

◇住所 〒722-0017

尾道市門田町20-23 細谷 方

◇TEL 090-9468-8268

◇メール kanoko@bbbn.jp

主な活動

生ごみの堆肥化運動の推進

ごみ減量と食品ロス削減運動の一環として、生ごみ堆肥化に取り組んでいます。

特に今年度は、誰でも簡単に取り組める生ごみ堆肥化運動として、FLCコンポストを使った年3回の学習会とフォローのための意見交換会を年3回開催しました。

自分で取り組むことで、生ごみ堆肥化の手軽さのできた堆肥の効果を実感することができます。また、ビオトープに堆肥利用の農園を作って、家族と一緒に土に親しみながら環境学習に取り組みたいです。



収穫した里芋と
さつまいも

FLC
コンポスト



エコさんぽの実施

地域の自然を親子で一緒に楽しみ、また周りの環境にも関心を持ってもらいたいです。

川に入って遊べるのが、子どもたちにとっては大きな楽しみで、毎年参加者も多いです。

毎回、テーマを決めて情報発信をする良い機会となっています。



地域の活動の伝承

自然の材料を用いて、縄を絞うところから親子で挑戦します。地域の人々とふれあう良い機会となります。自分だけのしめ飾りづくりは、できあがった時の喜びはひとしおです。



野外料理～災害時対応の実践～

災害時、電気もガスも水道も使えないときにどうするかを空き缶利用の炊飯、ビニール袋料理、火おこしなどを遊びの中で体験します。

たくさんの親子の参加があります。



今後の展望・地域のみなさまへ

尾道市の住宅街でありながら、町の中央に川が流れています。その地形を生かして、ホテルの里ビオトープをつくり、近年ホテルの復活が見られるようになりました。川の周りの生き物観察をすることから環境学習の大切さを知り、守り育てていく足掛かりとなるように、ホテル復活をその基本に位置づけて、普段の中でできることを考え、実践していくための情報提供を行っていきます。

脱温暖化笑コきたひろ

【設立】2010(平成22)年2月22日
【会員数】個人：5人、団体数：2団体

北広島町公衆衛生推進協議会が策定した「北広島町脱温暖化8か条」を軸に活動を行います。

近年は主に北広島町公衆衛生推進協議会の脱温暖化委員会と行政による連携で活動を実施しています。

【事務局連絡先】

◇住所 〒731-1595
山県郡北広島町有田1234番地
北広島町役場 環境生活課内
◇TEL 050-5812-1861
◇FAX 0826-72-5242
◇メール koueikyou.jimu@gmail.com

主な活動

水辺教室開催

地元の川に入り、生息する虫や小魚を採取することで自然に親しみ、郷土に対する理解を深めます。これは里地里山の保全・活用を見据えた事業であり、また生物多様性の確保・周知においても重要な観点と言えます。



廃食油回収

行政と連携し、北広島町役場本庁および支所に廃油の回収場所を設けています。



これまでの活動

旬と食ウォーキング

北広島町脱温暖化8カ条の「地元で取れる旬を知り、食事に取り入れよう」をテーマに開催しました。北広島町内の名所を会場に設定し、時期に合わせた旬の食事会を同時に行うことで、ウォーキングを通して旬と食を実感してもらい、また地域に愛着を持ってもらいました。



脱温暖化出前授業

主に町内の小中学生を対象に実施しました。北広島町脱温暖化8カ条をテーマに作成したオリジナル紙芝居などを用いて、家庭単位の脱温暖化を啓発しました。



竹原市地球温暖化対策地域協議会 (エコネットたけはら)

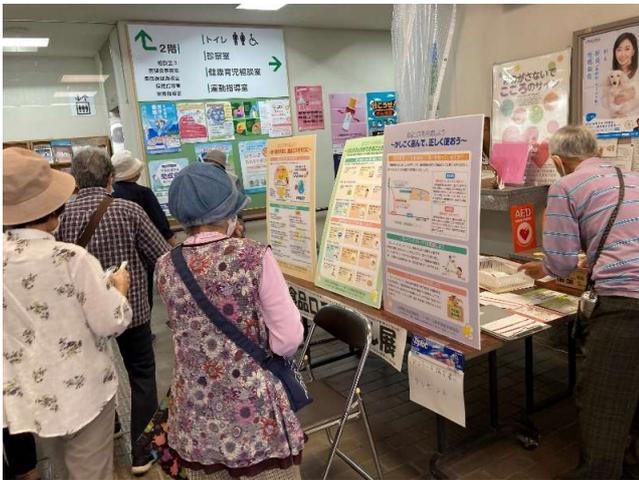
【設立】2011(平成23)年2月15日
【会員数】個人：1人、団体数：13団体

【事務局連絡先】
◇住所 〒725-8666
広島県竹原市中央5丁目6番28号
竹原市役所まちづくり推進課生活環境係内
◇TEL 0846-22-2279
◇メール chiiki@city.takehara.lg.jp

主な活動

脱温暖化の啓発イベント

脱温暖化を「食品ロス削減」の視点でフォーカスし、「竹原市福祉健康まつり」でイベントブースを設置しました。私生活で食品ロスを出していないか、個人の取り組みについてアンケートを実施し、「食品ロス削減」について学習する場を設けました。



エコクッキング教室

竹原市内の小学校や地域住民などを対象に「食品ロス」、「エコ」をテーマにした学習活動を実施しました。

令和5年度・6年度と継続して取り組んでいます。



「省エネチャレンジ」キャンペーン

地球温暖化対策・脱炭素に関する取り組みの一環として、令和5年11月に自宅で取り組む「省エネチャレンジ」キャンペーンを実施しました。

「エアコンの室内温度を22度から2度下げる(冬季)」、「洗濯はできるだけまとめ洗いして、使う回数を減らす」、「家電の主電源を切ったり、プラグを抜いておく」などの身近な電気使用量削減にチャレンジしました。

前年同月より電気使用量を削減できた参加者へ、エコグッズをプレゼントしました。

山野草学習会

春の七草をテーマに身近な山野草について学ぶことで、環境への関心を深める学習会を実施しました。実際に七草がゆを作って食べました。



今後の展望・地域のみなさまへ

日常生活の中で、「エコ」な取り組みを知り、実践する意識を高めることが大切です。何気ない行動の中に隠れている「無駄(ロス)」を減らし、地球環境を守る家族や地域の取り組みの輪を広げていくように心がけてまいります。

かんきょう会議 浮城

【設立】2008(平成20)年11月
【会員数】個人：16人

平成20年11月に三原市環境基本計画に基づき「みはらし環境会議」を構成する「地域実践組織」として発足しました。平成23年3月に地球温暖化対策地域協議会として設立しました。令和6年5月に7人で再スタートしています。

【事務局連絡先】

◇住所 〒723-0002
三原市中之町南1402-66
◇TEL 090-5265-3855
◇メール ukishiro.mihara.hiroshima@gmail.com
◇note https://note.com/ukishiro_mihara

主な活動

啓発と仲間づくり

高齢化などによる会員減少に直面し、仲間づくりに取り組みました。

ゲームでSDGs・環境学習



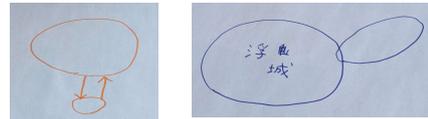
カルビーサステナビリティ経営セミナー



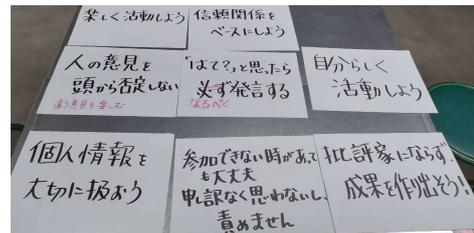
定例ミーティング

月に1回行う定例ミーティングで、全員が1人ずつ環境トークを行う「What's new?」をはじめ、会のルールづくりやビジョンづくり、企画の打ち合わせなどを行っています。会にとって大切な時間です。

浮城と自分の関係を図で表すワーク



ルールづくり



ミニ学習会

令和7年度総会で出た「知りたい」「話したい」の声を受けて始めた企画です。現地参加とZoomのハイブリッド開催で、どなたでも参加可能なオープン企画です。

2025年7月開催

https://note.com/ukishiro_mihara, 090-5265-3855."/>

2025年9月開催

https://note.com/ukishiro_mihara, 090-5265-3855."/>

Refill (リフィル)

使い捨て容器を減らすRefill Japan (リフィルジャパン) に賛同し、「Refillひろしま」事務局として、給水スポット・マイ容器スポットの拡大や利用促進に取り組んでいます。

イベント出展と給水提供



今後の展望・地域のみなさまへ

再スタート以降、まだヨチヨチ歩きですが、人も自然も幸せで喜びあふれる地域にできるよう、賛同の輪を広げ活動を拡大していきます。ご参加・応援よろしくお祈いします。

しのうエコ推進会 (庄原市敷信自治振興区温暖化対策地域協議会)

【設立】2012(平成24)年3月14日
【会員数】個人：10人、団体数：1団体

環境保全の活動を通して、脱温暖化の地域づくりに貢献します。

【事務局連絡先】

◇住所 〒727-0004
庄原市板橋町203-6
敷信自治振興区内
◇TEL 0824-72-0571
◇メール shinou.jichi@gmail.com

主な活動

地域のイベントに参加

「敷信ふるさと祭り」へ参加し、特設ブースを設け、ソーラークッカーでの湯沸かし体験やエコ取り組みのアンケート、間違い探しなどを実施しました。アンケート回答者には、エコバッグをプレゼントしました。



エコキャップ回収事業

平成27年度からエコキャップの回収事業を継続して実施しています。ゴミとして焼却しないためCO₂が発生しないうえ、再生プラスチック原料として換金し、医療支援などのさまざまな社会貢献活動に充てられています。



気泡緩衝材(プチプチ®)回収事業

令和7年度から気泡緩衝材(プチプチ®)の回収事業を実施しています。



今後の展望・地域のみなさまへ

設立当初は、画期的にさまざまな活動を行っていましたが、現在は細く長い活動となっています。自分たちにできることを、啓蒙活動をしながら少しずつ実施していきたいと思っています。

脱温暖化福山中央地域協議会（脱温ふくやま中央）

【設立】2015(平成27)年

【会員数】個人：100人、団体数：2団体

福山市公衆衛生推進協議会（中央ブロック）が中心となり、福山市食生活改善推進連絡協議会（中央ブロック）・福山環境大学卒業生・地球温暖化防止活動推進員が連携しながら4つのチームに分かれてさまざまな活動を展開してきました。現在は、出前講座等の環境学習、うちエコ診断、省エネ推進活動をチーム全体で温暖化防止活動を継続しています。また、食生活推進メンバーはエコクッキングなどの活動を継続しています。

【事務局連絡先】

◇住所 〒720-0824
福山市多治米町1-19-1
小林哲仁 方

◇TEL 084-953-2973

◇FAX 084-953-2983

主な活動

活動のあゆみ

- 平成27年度～令和元年度
マイバッグ・マイ箸推進運動、アイドリングストップ運動、緑のカーテン運動、地産地消の推進、廃食油の活用、環境学習出前講座、エコクッキング、光熱費節約大作戦！、マイクロプラスチック減量啓発、うちエコ診断
- 令和2年度～令和4年度
うちエコ診断（新型コロナ発生により活動抑制）
- 令和5年度
小型家電の金属資源活用講座（平林金属（株））
環境学習エコ双六出前講座（小学校）、節水シャワー・マイクロバブル勉強会
- 令和6年度
温暖化勉強会（異常気象多発）、プチプチ®回収事業
- 令和7年度（推進中）
DIY内窓設置事業、うちエコ診断

マイクロナノバブル水研修会

節水シャワー・シンク蛇口のマイクロナノバブル水の研修会を実施しました。使用水量を実測して、新しいものは、古いものに比較して、約半分の水量になっていることが確認できました。また、実際に食推チームの指導で、マイクロナノバブル水と普通水道水で炊き上げたおにぎりの味を比較しました。（水道水よりもおいしいという意見）



小学校への出前講座

小学校の出前講座では、地球温暖化の講演のあと、エコ双六を使って実践できる省エネ活動を学びました。



内窓設置事業

令和7年度から、内窓設置事業を、県の補助金を受けて始めました。公民館の窓を使って、自前で内窓を設置する方法について実習を通して学びました。

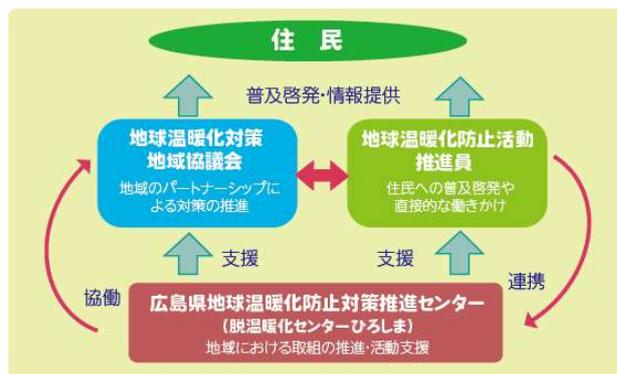


今後の展望・地域のみなさまへ

設立して10年が経過しました。当初は活動人員も多く、さまざまな活動にチャレンジしてきましたが、降ってわいたような新型コロナの感染拡大の影響で、空白とも言える4年がありました。しかし、近年の異常な猛暑、豪雨や台風の巨大化などを考えると、「脱温暖化」を合言葉に、活動を継続して進めていかねばならないと思っています。

広島県地球温暖化防止活動推進センター(脱温暖化センターひろしま)について

広島県地球温暖化防止活動推進センターは、通称「脱温暖化センターひろしま」とし、県民一人ひとりの脱温暖化への取り組みを促進するため、コミュニティを基盤にした“脱温暖化のまちづくり”をめざします。その活動の中心的役割を果たす「組織＝地球温暖化対策地域協議会(以下、地域協議会)」の立ち上げ・活動支援と、その核となる「人＝地球温暖化防止活動推進員(以下、推進員)」を養成・育成することに重点をおき、「脱温暖化センターひろしま」と「地域協議会」「推進員」が連携・協働しながら脱温暖化を推進できる体制を築くことをめざします。



脱温暖化センターひろしまの取り組み

● 広報・啓発活動

情報紙「環境と健康」およびホームページ、Facebookを通じて情報発信を行う。また、イベントに出展し、温暖化の現状やセンターの取り組みを広く伝える。

● 地球温暖化防止活動推進員、活動団体等の支援

地球温暖化防止活動推進員の養成研修を開催するほか、地球温暖化対策地域協議会の活動を支援する。

● 温室効果ガスの排出抑制等のための情報提供・相談・助言

パンフレット等の資料提供や教材貸し出し、講師派遣を行う。

● 地域の温室効果ガスの排出実態の把握、情報収集・分析、成果の発信

地球温暖化対策地域協議会の協力を得て、家庭でできる、脱炭素につながる取り組みを普及啓発する。

当センターは、コミュニティを基盤にした“脱温暖化のまちづくり”をテーマに、その活動の核を担う「地球温暖化対策地域協議会」や「地球温暖化防止活動推進員」と連携・協働しながら、脱温暖化の推進体制を築くことをめざしています。



地球温暖化防止活動推進員の役割(温対法第37条)

- ◆ 地球温暖化の現状及び地球温暖化対策の重要性について住民の理解を深めること
- ◆ 住民に対し、その求めに応じ日常生活に関する温室効果ガスの排出の抑制等のための措置について調査を行い、当該調査に基づく指導及び助言をすること
- ◆ 地球温暖化対策の推進を図るための活動を行う住民に対し、当該活動に関する情報の提供その他の協力をすること
- ◆ 温室効果ガスの排出の抑制等のために国又は地方公共団体が行う施策に必要な協力をすること

地球温暖化対策地域協議会(温対法第40条)

地方公共団体、地域センター、地球温暖化防止活動推進員、事業者、住民その他の地球温暖化対策の推進を図るための活動を行う者は、日常生活に関する温室効果ガスの排出の抑制等に関し必要となるべき措置について協議するため、地球温暖化対策地域協議会を組織することができる。

日常生活からの温室効果ガス排出削減に向けて、**地域の各種団体が連携・協働し、地域の実情にあった対策に取り組む組織**のこと。

構成員は、地球温暖化防止活動推進員や公衆衛生推進協議会、女性会・食推などの各種団体、行政、学校、企業などさまざま。

広島県地球温暖化対策地域協議会連絡会 設置要綱

沿革 平成17年9月1日 制定

(名称)

第1条 本会は、広島県地球温暖化対策地域協議会連絡会(通称「TEAM MATEひろしま」以下本会という)という。(Tiiki Eco Aaction Mmeeting)

(目的)

第2条 本会は、広島県内の脱温暖化のまちづくりの主体間連携組織である地球温暖化対策地域協議会の交流・協働の場としてネットワークを形成し、地球温暖化対策に寄与するとともに地域環境力の向上を図ること目的とする。

(活動内容)

第3条 本会は、第2条の目的を達成するため、次の活動を行う。

- (1) 定期的交流会の開催
- (2) 温暖化防止の普及・啓発事業の共同実施の企画・運営
- (3) 組織経営の研究
- (4) その他必要な事業の研究・開発及び実施

(構成員)

第4条 本会の構成員は、次のとおりとする。

- (1) 地球温暖化対策地域協議会

(構成員の資格)

第5条 本会の構成員たる地球温暖化対策地域協議会は、次の各号をすべて満たしていること。

- (1) 地域協議会は、コミュニティ活動との関連が大きいこと。
- (2) 地域協議会は、地域住民組織が構成員になっていること。
- (3) 地域協議会は、地域の行政機関が構成員もしくは協働体制となっていること。
- (4) 地域協議会の構成員に地球温暖化防止活動推進員を有していること。
(入会後に養成研修を受講することが決定している場合はこの限りではない)
- (5) 地域協議会の規約、予算書(活動財源)、事業計画書及び事務局等が明確にされていること。
- (6) 会費が納入されていること。
- (7) その他

(賛助会員)

第6条 本会の目的事業を賛助し、年額1万円を1口として、1口以上の賛助金を納める者で、構成員の総意を得たものを賛助会員とする。

(退会・除名)

第7条 本会構成員及び賛助会員の退会及び除名については下記のとおりとする。

- (1) 構成員自らが退会申請をし、構成員の総意を得て退会することができる。
- (2) 前第4条の資格要件に虚偽が発覚した場合、構成員の総意を得て除名できる。
- (3) 会費が納入されない場合、構成員の総意を得て退会処分ができる。

(役員)

第8条 本会構成員の中から役員として、代表1名、副代表2名、監事2名をおく。

- 2 役員は構成員の互選とする。
- 3 役員の任期は2年とし、再任を妨げない。
- 4 その他、必要な事項は構成員の総意で決定するものとする。

(会計)

第9条 本会の経費は、次に掲げるものをもって充てる。

- (1) 会費(年額5,000円)、委託金、補助金、助成金及び寄付金
- (2) 賛助会費
- (3) その他

(事業年度)

第10条 本会の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終るものとする。

(事業計画・報告、予算・決算)

第11条 本会の事業計画・報告、予算・決算は構成員の全体会に報告するものとする。

(事務局)

第12条 事務局は「脱温暖化センターひろしま」に置く。

(雑則)

第13条 この規約に定めるもののほか、本会の運営に関する必要な事項が生じた場合には、役員議を得て構成員の総意で決定するものとする。

附則

- 1 この規約は平成17年9月1日から施行する。
- 2 会費は、平成18年4月1日から適用する。



発行：脱温暖化センターひろしま

(一般財団法人 広島県環境保健協会)

■〒730-8631 広島市中区広瀬北町9-1

■TEL：082-293-1512

■FAX：082-293-1524

■メール：hccca@kanhokyo.com